

岩手海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び自薦応募状況（終了時公表）

推薦を受けた者の数 14 人（うち、漁業者・漁業従事者委員候補者 8 人）

自薦応募した者の数 1 人（うち、漁業者・漁業従事者委員候補者 0 人）

1 漁業者・漁業従事者委員候補者

(1) 個人推薦

受付番号	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦をした者（個人の場合）※代表者以外は別紙					推薦の理由		
	氏名	フリガナ	年齢	性別	漁業の根拠地	職業	経歴（法人・団体の役職歴）		漁業経営状況		代表者の氏名	年齢		性別	職業
							就業状況	法人・団体の役職歴	主な漁業種類	漁業者または漁業従事者の別					
1	小川原 泉	コガワラ イズミ	73	男	釜石市	漁業	S47.5～H17.4 S49.4～ 釜石東部漁協勤務 釜石東部漁協正組員	H20.6～ H28.6～R4.7 H26.7～H29.4 H30.10～R6.6 釜石東部漁協代表理事組合長 釜石市漁業協同組合連合会会長 岩手県漁業信用基金協会理事長 岩手県漁業協同組合連合会副会長	採介藻 養殖	漁業者	木村 嘉人	70	男	漁業 唐丹町漁協代表 理事組合長	小川原泉氏は、釜石東部漁協の職員として長年にわたり勤務し、平成20年6月には理事となり、同日、代表理事組合長に就任された。平成28年から6年間は釜石市漁連の会長として釜石地区の漁業の発展に尽力され、更には平成30年から令和6年まで岩手県漁業協同組合連合会の副会長として岩手県の漁業関係全般において尽力された。その他にも岩手県水産団体の役員にも数多く就任され、岩手県の漁業の現状を多く理解されており、今後も岩手海区漁業調整委員会の委員として適任であることから、候補者として推薦する。

(2) 団体推薦

受付番号	推薦を受けた者（被推薦者）							推薦した者（団体の場合）					推薦の理由			
	氏名	フリガナ	年齢	性別	漁業の根拠地	職業	経歴（法人・団体の役職歴）		漁業経営状況		団体等名称	代表者の職氏名		団体の性格		
							就業状況	法人・団体の役職歴	漁業種類	漁業者または漁業従事者の別				設立目的	構成員の人数	
1-1	湊 謙	ミナト ケン	80	男	山田町	漁業 (定置網)	S37.3～S43.8 S43.9～S46.3 S46.4～現在 極洋捕鯨株式会社勤務 大阪中央卸売市場株式会社大水勤務 丸勝冷凍・佐々木漁業生産組合勤務	H3.6～H15.6 H15.6～H23.6 H23.6～現在 H23.6～現在 H23.6～現在 H23.8～現在 H29.7～R2.7 R2.7～現在 H23.7～H26.6 H26.6～H29.6 H24.3～R5.6 R5.6～現在 R3.4～R6.8 R6.8～現在 船越湾漁協監事 船越湾漁協理事 船越湾漁協代表理事組合長 岩手県漁業協同組合連合会理事 (一社)岩手県栽培漁業協会理事 岩手県JF共済推進本部運営委員 日本漁船保険組合岩手県支所運営委員 日本漁船保険組合岩手県支所副委員長 岩手県漁業共済組合監事 岩手県漁業共済組合代表監事 山田漁業協同組合連合会副会長 山田漁業協同組合連合会会長 岩手海区漁業調整委員会委員 岩手海区漁業調整委員会会長	定置	漁業者	船越湾漁協	代表理事組合長 湊 謙	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員277人 準組合員34人	被推薦者は、昭和46年4月から53年間、漁業に従事しており、現場に精通している。平成3年から船越湾漁協監事・理事を経て平成23年6月から代表理事組合長に就任し現在に至る。また、岩手県漁業協同組合連合会理事など県漁業団体の役職に務め、地域住民からの人望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献している。岩手海区漁業調整委員会では令和6年8月に会長に選出されており、委員会への理解や意欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。	
1-2	湊 謙	ミナト ケン	80	男	山田町	漁業 (定置網)	同上	同上	同上	同上	同上	三陸やまだ漁協	代表理事組合長 菊地 敏克	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員353人 準組合員168人	被推薦者は、昭和46年4月から53年間、漁業に従事しており、現場に精通している。平成3年から船越湾漁協監事・理事を経て平成23年6月から代表理事組合長に就任し現在に至る。また、岩手県漁業協同組合連合会理事など県漁業団体の役職に務め、地域住民からの人望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献している。岩手海区漁業調整委員会では令和6年8月に会長に選出されており、委員会への理解や意欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。

1-3	湊 謙	ミナト ケン	80	男	山田町	漁業 (定置網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	重茂漁協	代表理事組合長 山崎 義広	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員431人 準組合員38人	被推薦者は、昭和46年4月から53年間、漁業に従事 しており、現場に精通している。平成3年から船越湾 漁協監事・理事を経て平成23年6月から代表理事組合 長に就任し現在に至る。また、岩手県漁業協同組合連 合会理事など県漁業団体の役職に務め、地域住民から の要望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大 きく貢献している。岩手海区漁業調整委員会では令和 6年8月に会長に選出されており、委員会への理解や意 欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
1-4	湊 謙	ミナト ケン	80	男	山田町	漁業 (定置網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	宮古漁協	代表理事組合長 山根 秀幸	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員420人 準組合員458人	被推薦者は、昭和46年4月から53年間、漁業に従事 しており、現場に精通している。平成3年から船越湾 漁協監事・理事を経て平成23年6月から代表理事組合 長に就任し現在に至る。また、岩手県漁業協同組合連 合会理事など県漁業団体の役職に務め、地域住民から の要望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大 きく貢献している。岩手海区漁業調整委員会では令和 6年8月に会長に選出されており、委員会への理解や意 欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
1-5	湊 謙	ミナト ケン	80	男	山田町	漁業 (定置網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	田老町漁協	代表理事組合長 畠山 康男	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員296人 準組合員135人	被推薦者は、昭和46年4月から53年間、漁業に従事 しており、現場に精通している。平成3年から船越湾 漁協監事・理事を経て平成23年6月から代表理事組合 長に就任し現在に至る。また、岩手県漁業協同組合連 合会理事など県漁業団体の役職に務め、地域住民から の要望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大 きく貢献している。岩手海区漁業調整委員会では令和 6年8月に会長に選出されており、委員会への理解や意 欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
1-6	湊 謙	ミナト ケン	80	男	山田町	漁業 (定置網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	小本浜漁協	代表理事組合長 三田地 和彦	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員137人 準組合員30人	被推薦者は、昭和46年4月から53年間、漁業に従事 しており、現場に精通している。平成3年から船越湾 漁協監事・理事を経て平成23年6月から代表理事組合 長に就任し現在に至る。また、岩手県漁業協同組合連 合会理事など県漁業団体の役職に務め、地域住民から の要望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大 きく貢献している。岩手海区漁業調整委員会では令和 6年8月に会長に選出されており、委員会への理解や意 欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
1-7	湊 謙	ミナト ケン	80	男	山田町	漁業 (定置網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	田野畑村漁協	代表理事組合長 職務代理者 副組合長理事 中机 義廣	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員185人 準組合員58人	被推薦者は、昭和46年4月から53年間、漁業に従事 しており、現場に精通している。平成3年から船越湾 漁協監事・理事を経て平成23年6月から代表理事組合 長に就任し現在に至る。また、岩手県漁業協同組合連 合会理事など県漁業団体の役職に務め、地域住民から の要望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大 きく貢献している。岩手海区漁業調整委員会では令和 6年8月に会長に選出されており、委員会への理解や意 欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
1-8	湊 謙	ミナト ケン	80	男	山田町	漁業 (定置網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	普代村漁協	代表理事組合長 前川 健吾	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員213人 準組合員27人	被推薦者は、昭和46年4月から53年間、漁業に従事 しており、現場に精通している。平成3年から船越湾 漁協監事・理事を経て平成23年6月から代表理事組合 長に就任し現在に至る。また、岩手県漁業協同組合連 合会理事など県漁業団体の役職に務め、地域住民から の要望も厚く、地域の調整役として水産業の発展に大 きく貢献している。岩手海区漁業調整委員会では令和 6年8月に会長に選出されており、委員会への理解や意 欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。

2-1	畠山 康男	ハタケヤマ ヤスオ	76	男	宮古市 田老	漁業 (採介藻)	S42.4～H27.3 S42.4～現在	家業の養殖漁業に従事 採介藻漁業	H4.6～ H19.6～ R4.6～現在 R5.6～現在 R5.6～現在 R5.6～現在	田老町漁協理事 田老町漁協副組合長理事 田老町漁協代表理事組合長 岩手県漁業協同組合連合会監事 岩手県さけ・ます増殖協会理事 岩手県漁港・漁村協会監事 JF共済推進本部運営委員会委員	採介藻	漁業者	田老町漁協	代表理事組合長 畠山 康男	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員296人 準組合員135人	被推薦者は、昭和42年4月から57年間、漁業に従事 しており、昭和42年から平成27年まで養殖漁業でワカ メ・コンブを生産し地域に漁業生産に貢献してきた。 平成4年6月からは田老町漁協の理事に就任した。令和 4年6月には代表理事組合長に就任し、現在に至る。また、 令和5年6月からは、岩手県漁業協同組合連合会監 事など県漁業団体の役員も務めている。明るい人柄と 漁業に対するひたむきな取組から地域住民からの人望 も厚い。長い漁業経験からその手腕を発揮し共同漁業 権を共有している関係組合との調整も良好に行われて いる。以上のことから岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
2-2	畠山 康男	ハタケヤマ ヤスオ	76	男	宮古市 田老	漁業 (採介藻)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	船越湾漁協	代表理事組合長 湊 謙	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員277人 準組合員34人	被推薦者は、昭和42年4月から57年間、漁業に従事 しており、昭和42年から平成27年まで養殖漁業でワカ メ・コンブを生産し地域に漁業生産に貢献してきた。 平成4年6月からは田老町漁協の理事に就任した。令和 4年6月には代表理事組合長に就任し、現在に至る。また、 令和5年6月からは、岩手県漁業協同組合連合会監 事など県漁業団体の役員も務めている。明るい人柄と 漁業に対するひたむきな取組から地域住民からの人望 も厚い。長い漁業経験からその手腕を発揮し共同漁業 権を共有している関係組合との調整も良好に行われて いる。以上のことから岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
2-3	畠山 康男	ハタケヤマ ヤスオ	76	男	宮古市 田老	漁業 (採介藻)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	三陸やまだ漁協	代表理事組合長 菊地 敏克	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員353人 準組合員168人	被推薦者は、昭和42年4月から57年間、漁業に従事 しており、昭和42年から平成27年まで養殖漁業でワカ メ・コンブを生産し地域に漁業生産に貢献してきた。 平成4年6月からは田老町漁協の理事に就任した。令和 4年6月には代表理事組合長に就任し、現在に至る。また、 令和5年6月からは、岩手県漁業協同組合連合会監 事など県漁業団体の役員も務めている。明るい人柄と 漁業に対するひたむきな取組から地域住民からの人望 も厚い。長い漁業経験からその手腕を発揮し共同漁業 権を共有している関係組合との調整も良好に行われて いる。以上のことから岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
2-4	畠山 康男	ハタケヤマ ヤスオ	76	男	宮古市 田老	漁業 (採介藻)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	重茂漁協	代表理事組合長 山崎 義広	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員431人 準組合員38人	被推薦者は、昭和42年4月から57年間、漁業に従事 しており、昭和42年から平成27年まで養殖漁業でワカ メ・コンブを生産し地域に漁業生産に貢献してきた。 平成4年6月からは田老町漁協の理事に就任した。令和 4年6月には代表理事組合長に就任し、現在に至る。また、 令和5年6月からは、岩手県漁業協同組合連合会監 事など県漁業団体の役員も務めている。明るい人柄と 漁業に対するひたむきな取組から地域住民からの人望 も厚い。長い漁業経験からその手腕を発揮し共同漁業 権を共有している関係組合との調整も良好に行われて いる。以上のことから岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
2-5	畠山 康男	ハタケヤマ ヤスオ	76	男	宮古市 田老	漁業 (採介藻)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	宮古漁協	代表理事組合長 山根 秀幸	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員420人 準組合員458人	被推薦者は、昭和42年4月から57年間、漁業に従事 しており、昭和42年から平成27年まで養殖漁業でワカ メ・コンブを生産し地域に漁業生産に貢献してきた。 平成4年6月からは田老町漁協の理事に就任した。令和 4年6月には代表理事組合長に就任し、現在に至る。また、 令和5年6月からは、岩手県漁業協同組合連合会監 事など県漁業団体の役員も務めている。明るい人柄と 漁業に対するひたむきな取組から地域住民からの人望 も厚い。長い漁業経験からその手腕を発揮し共同漁業 権を共有している関係組合との調整も良好に行われて いる。以上のことから岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。

2-6	畠山 康男	ハタケヤマ ヤスオ	76	男	宮古市 田老	漁業 (採介藻)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	小本浜漁協	代表理事組合長 三田地 和彦	この組合は、 組合員が協同し て経済活動を行 い、漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地 位を高めること を目的とする。	正組合員137人 準組合員30人	被推薦者は、昭和42年4月から57年間、漁業に従事 しており、昭和42年から平成27年まで養殖漁業でワカ メ・コンブを生産し地域に漁業生産に貢献してきた。 平成4年6月からは田老町漁協の理事に就任した。令和 4年6月には代表理事組合長に就任し、現在に至る。ま た、令和5年6月からは、岩手県漁業協同組合連合会監 事など県漁業団体の役員も務めている。明るい人柄と 漁業に対するひたむきな取組から地域住民からの人望 も厚い。長い漁業経験からその手腕を発揮し共同漁業 権を共有している関係組合との調整も良好に行われて いる。以上のことから岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
2-7	畠山 康男	ハタケヤマ ヤスオ	76	男	宮古市 田老	漁業 (採介藻)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	田野畑村漁協	代表理事組合長 職務代理人 副組合長理事 中机 義廣	この組合は、 組合員が協同し て経済活動を行 い、漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地 位を高めること を目的とする。	正組合員185人 準組合員58人	被推薦者は、昭和42年4月から57年間、漁業に従事 しており、昭和42年から平成27年まで養殖漁業でワカ メ・コンブを生産し地域に漁業生産に貢献してきた。 平成4年6月からは田老町漁協の理事に就任した。令和 4年6月には代表理事組合長に就任し、現在に至る。ま た、令和5年6月からは、岩手県漁業協同組合連合会監 事など県漁業団体の役員も務めている。明るい人柄と 漁業に対するひたむきな取組から地域住民からの人望 も厚い。長い漁業経験からその手腕を発揮し共同漁業 権を共有している関係組合との調整も良好に行われて いる。以上のことから岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
2-8	畠山 康男	ハタケヤマ ヤスオ	76	男	宮古市 田老	漁業 (採介藻)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	普代村漁協	代表理事組合長 前川 健吾	この組合は、 組合員が協同し て経済活動を行 い、漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地 位を高めること を目的とする。	正組合員213人 準組合員27人	被推薦者は、昭和42年4月から57年間、漁業に従事 しており、昭和42年から平成27年まで養殖漁業でワカ メ・コンブを生産し地域に漁業生産に貢献してきた。 平成4年6月からは田老町漁協の理事に就任した。令和 4年6月には代表理事組合長に就任し、現在に至る。ま た、令和5年6月からは、岩手県漁業協同組合連合会監 事など県漁業団体の役員も務めている。明るい人柄と 漁業に対するひたむきな取組から地域住民からの人望 も厚い。長い漁業経験からその手腕を発揮し共同漁業 権を共有している関係組合との調整も良好に行われて いる。以上のことから岩手海区漁業調整委員会の委員 として推薦する。
3-1	山崎 義広	ヤマザキ ヨシヒロ	77	男	宮古市	漁業	S41.4～ S41.4～ S53.7～ H16.11	家業の漁業 重茂漁協就職 重茂漁協正組合員 重茂漁協退職	H21.6～H22.6 H22.7～H30.6 H30.6～ H30.6～ H30.10～R6.7 H30.10～R1.7 R1.6～ R1.6～R5.6 R1.7～R6.7 R5.6～ R6.7～ R6.7～ R6.7～ R6.7～ R6.7～ R6.7～ R6.7～ R6.7～ R6.7～ R6.7～ R6.8～ R6.8～	重茂漁協理事 重茂漁協副組合長理事 重茂漁協代表理事組合長 いわて水産アカデミー運営協議会副会長 岩手県漁業協同組合連合会理事 岩手県漁業共済組合理事 岩手県沿岸漁船漁業組合理事 岩手県漁港漁村協会監事 岩手県漁業共済組合副組合長理事 岩手県漁港漁村協会理事 岩手県漁業協同組合連合会代表理事会長 岩手県栽培漁業協会会長理事 岩手県漁船海難防止・水難救済会会長 漁船海難遺児を励ます岩手県地方協議会会長 岩手県東日本大震災津波復興委員会委員 岩手県漁業共済組合理事 (公財)岩手県漁業担い手育成基金代表理事 宮古海事振興会会長 (一社)岩手県さけます増殖協会会長理事 (一社)岩手県定置漁業協会会長	採介藻	漁業者	重茂漁協	代表理事組合長 山崎 義広	この組合は、 組合員が協同し て経済活動を行 い、漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地 位を高めること を目的とする。	正組合員431人 準組合員38人	被推薦人は、長年に渡り採介藻漁業に従事するかた わら、昭和41年からは漁協職員としても漁業にかかわ り、経営感覚と見識を持ち積極果敢に事象に対処し、 参事職まで務めた。平成21年からは重茂漁協の理事を 務め、翌年平成22年に副組合長理事、平成30年には代 表理事組合長に就任し現在に至る。経営改善に積極的 に取り組み、組合員からの信望も厚く、調整能力にも 優れている。加えて、平成30年より上部団体である岩 手県漁連理事、令和6年からは代表理事会長に就任す るとともに、現在、数々の水産団体の役員として水産 業界の発展に大きく貢献している。以上により、岩手 海区漁業調整委員会の委員として推薦する。

3-2	山崎 義広	ヤマザキ ヨシヒロ	77	男	宮古市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	普代村漁協	代表理事組合長 前川 健吾	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員213人 準組合員27人	被推薦人は、長年に渡り採介藻漁業に従事するかたわら、昭和41年からは漁協職員としても漁業にかかわり、経営感覚と見識を持ち積極果敢に事象に対処し、参事職まで務めた。平成21年からは重茂漁協の理事を務め、翌年平成22年に副組合長理事、平成30年には代表理事組合長に就任し現在に至る。経営改善に積極的に取り組み、組合員からの信望も厚く、調整能力にも優れている。加えて、平成30年より上部団体である岩手県漁連理事、令和6年からは代表理事会長に就任するとともに、現在、数々の水産団体の役員として水産業界の発展に大きく貢献している。以上により、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
3-3	山崎 義広	ヤマザキ ヨシヒロ	77	男	宮古市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	田野畑村漁協	代表理事組合長 職務代理者 副組合長理事 中机 義廣	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員185人 準組合員58人	被推薦人は、長年に渡り採介藻漁業に従事するかたわら、昭和41年からは漁協職員としても漁業にかかわり、経営感覚と見識を持ち積極果敢に事象に対処し、参事職まで務めた。平成21年からは重茂漁協の理事を務め、翌年平成22年に副組合長理事、平成30年には代表理事組合長に就任し現在に至る。経営改善に積極的に取り組み、組合員からの信望も厚く、調整能力にも優れている。加えて、平成30年より上部団体である岩手県漁連理事、令和6年からは代表理事会長に就任するとともに、現在、数々の水産団体の役員として水産業界の発展に大きく貢献している。以上により、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
3-4	山崎 義広	ヤマザキ ヨシヒロ	77	男	宮古市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	小本浜漁協	代表理事組合長 三田地 和彦	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員137人 準組合員30人	被推薦人は、長年に渡り採介藻漁業に従事するかたわら、昭和41年からは漁協職員としても漁業にかかわり、経営感覚と見識を持ち積極果敢に事象に対処し、参事職まで務めた。平成21年からは重茂漁協の理事を務め、翌年平成22年に副組合長理事、平成30年には代表理事組合長に就任し現在に至る。経営改善に積極的に取り組み、組合員からの信望も厚く、調整能力にも優れている。加えて、平成30年より上部団体である岩手県漁連理事、令和6年からは代表理事会長に就任するとともに、現在、数々の水産団体の役員として水産業界の発展に大きく貢献している。以上により、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
3-5	山崎 義広	ヤマザキ ヨシヒロ	77	男	宮古市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	田老町漁協	代表理事組合長 畠山 康男	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員296人 準組合員135人	被推薦人は、長年に渡り採介藻漁業に従事するかたわら、昭和41年からは漁協職員としても漁業にかかわり、経営感覚と見識を持ち積極果敢に事象に対処し、参事職まで務めた。平成21年からは重茂漁協の理事を務め、翌年平成22年に副組合長理事、平成30年には代表理事組合長に就任し現在に至る。経営改善に積極的に取り組み、組合員からの信望も厚く、調整能力にも優れている。加えて、平成30年より上部団体である岩手県漁連理事、令和6年からは代表理事会長に就任するとともに、現在、数々の水産団体の役員として水産業界の発展に大きく貢献している。以上により、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
3-6	山崎 義広	ヤマザキ ヨシヒロ	77	男	宮古市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	宮古漁協	代表理事組合長 山根 秀幸	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員420人 準組合員458人	被推薦人は、長年に渡り採介藻漁業に従事するかたわら、昭和41年からは漁協職員としても漁業にかかわり、経営感覚と見識を持ち積極果敢に事象に対処し、参事職まで務めた。平成21年からは重茂漁協の理事を務め、翌年平成22年に副組合長理事、平成30年には代表理事組合長に就任し現在に至る。経営改善に積極的に取り組み、組合員からの信望も厚く、調整能力にも優れている。加えて、平成30年より上部団体である岩手県漁連理事、令和6年からは代表理事会長に就任するとともに、現在、数々の水産団体の役員として水産業界の発展に大きく貢献している。以上により、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。

3-7	山崎 義広	ヤマザキ ヨシヒロ	77	男	宮古市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	三陸やまだ漁協	代表理事組合長 菊地 敏克	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員353人 準組合員168人	被推薦人は、長年に渡り採介藻漁業に従事するかたわら、昭和41年からは漁協職員としても漁業にかかわり、経営感覚と見識を持ち積極果敢に事象に対処し、参事職まで務めた。平成21年からは重茂漁協の理事を務め、翌年平成22年に副組合長理事、平成30年には代表理事組合長に就任し現在に至る。経営改善に積極的に取り組み、組合員からの信望も厚く、調整能力にも優れている。加えて、平成30年より上部団体である岩手県漁連理事、令和6年からは代表理事会長に就任するとともに、現在、数々の水産団体の役員として水産業界の発展に大きく貢献している。以上により、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
3-8	山崎 義広	ヤマザキ ヨシヒロ	77	男	宮古市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	船越湾漁協	代表理事組合長 湊 謙	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員277人 準組合員34人	被推薦人は、長年に渡り採介藻漁業に従事するかたわら、昭和41年からは漁協職員としても漁業にかかわり、経営感覚と見識を持ち積極果敢に事象に対処し、参事職まで務めた。平成21年からは重茂漁協の理事を務め、翌年平成22年に副組合長理事、平成30年には代表理事組合長に就任し現在に至る。経営改善に積極的に取り組み、組合員からの信望も厚く、調整能力にも優れている。加えて、平成30年より上部団体である岩手県漁連理事、令和6年からは代表理事会長に就任するとともに、現在、数々の水産団体の役員として水産業界の発展に大きく貢献している。以上により、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
4-1	砂田 光保	スナダ ミツオ	64	男	陸前高田市	漁業 (採介藻) 団体理事	S53.4～H16.3 H16.4～H26.8 H24.10 H26.7～	広田町漁協勤務 広田湾漁協勤務 広田湾漁協准組合員 広田湾漁協正組合員	H26.8～ H26.10～ H26.10～ H27.6～ H29.6～R1.10 R1.5～ R1.10～R2.6 R2.6～ R2.6～R3.3 R3.4～	採介藻	漁業者	広田湾漁協	代表理事組合長 砂田 光保	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員413人 準組合員664人	被推薦者は、永年漁業者、漁協職員として漁業に関わり、平成26年からは広田湾漁協代表理事組合長を務めており、地域漁業について深い知識と経験を持っています。また、現在は岩手県漁連理事、岩手県さけます増殖協会理事、岩手県栽培漁業協会監事、岩手県沿岸漁船組合監事、岩手県漁港漁村協会理事を務め、令和2年6月には岩手県信漁連代表理事会長に就任するなど漁協系統運動に多大な貢献をしております。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦します。	
4-2	砂田 光保	スナダ ミツオ	64	男	陸前高田市	漁業 (採介藻) 団体理事	同上	同上	同上	同上	同上	同上	綾里漁協	代表理事組合長 和田 豊太郎	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員297人 準組合員8人	被推薦者は、永年漁業者、漁協職員として漁業に関わり、平成26年からは広田湾漁協代表理事組合長を務めており、地域漁業について深い知識と経験を持っています。また、現在は岩手県漁連理事、岩手県さけます増殖協会理事、岩手県栽培漁業協会監事、岩手県沿岸漁船組合監事、岩手県漁港漁村協会理事を務め、令和2年6月には岩手県信漁連代表理事会長に就任するなど漁協系統運動に多大な貢献をしております。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦します。
4-3	砂田 光保	スナダ ミツオ	64	男	陸前高田市	漁業 (採介藻) 団体理事	同上	同上	同上	同上	同上	同上	越喜来漁協	代表理事組合長 船砥 秀市	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員412人 準組合員45人	被推薦者は、永年漁業者、漁協職員として漁業に関わり、平成26年からは広田湾漁協代表理事組合長を務めており、地域漁業について深い知識と経験を持っています。また、現在は岩手県漁連理事、岩手県さけます増殖協会理事、岩手県栽培漁業協会監事、岩手県沿岸漁船組合監事、岩手県漁港漁村協会理事を務め、令和2年6月には岩手県信漁連代表理事会長に就任するなど漁協系統運動に多大な貢献をしております。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦します。

4-4	砂田 光保	スナダ ミツオ	64	男	陸前高田市	漁業 (採介藻) 団体理事	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	吉浜漁協	代表理事組合長 寺澤 泰樹	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員143人 準組合員95人	被推薦者は、永年漁業者、漁協職員として漁業に関わり、平成26年からは広田湾漁協代表理事組合長を務めており、地域漁業について深い知識と経験を持っています。また、現在は岩手県漁連理事、岩手県さけます増殖協会理事、岩手県栽培漁業協会監事、岩手県沿岸漁船組合監事、岩手県漁港漁村協会理事を務め、令和2年6月には岩手県信漁連代表理事会長に就任するなど漁協系統運動に多大な貢献をしております。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦します。
4-5	砂田 光保	スナダ ミツオ	64	男	陸前高田市	漁業 (採介藻) 団体理事	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	大船渡市漁協	代表理事組合長 巨理 榮好	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員686人 準組合員582人	被推薦者は、永年漁業者、漁協職員として漁業に関わり、平成26年からは広田湾漁協代表理事組合長を務めており、地域漁業について深い知識と経験を持っています。また、現在は岩手県漁連理事、岩手県さけます増殖協会理事、岩手県栽培漁業協会監事、岩手県沿岸漁船組合監事、岩手県漁港漁村協会理事を務め、令和2年6月には岩手県信漁連代表理事会長に就任するなど漁協系統運動に多大な貢献をしております。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦します。
4-6	砂田 光保	スナダ ミツオ	64	男	陸前高田市	漁業 (採介藻) 団体理事	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	気仙郡漁協連合会	代表理事会長 巨理 榮好	この連合会は、会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的、社会的地位を高めることを目的とする。	5 会員	被推薦者は、永年漁業者、漁協職員として漁業に関わり、平成26年からは広田湾漁協代表理事組合長を務めており、地域漁業について深い知識と経験を持っています。また、現在は岩手県漁連理事、岩手県さけます増殖協会理事、岩手県栽培漁業協会監事、岩手県沿岸漁船組合監事、岩手県漁港漁村協会理事を務め、令和2年6月には岩手県信漁連代表理事会長に就任するなど漁協系統運動に多大な貢献をしております。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦します。
5-1	巨理 榮好	ワタリ マサヨシ	75	男	大船渡市	漁業 (かき・ほたて養殖漁業、採介藻、磯建網)	S40.4～S44.7 S44.8～H22.12 S46.11～	苫小牧市 加富建設勤務 巨理建設株式会社勤務 大船渡市漁協正組合員	H15.5～H16.6 H16.7～H20.6 H20.6～R1.10 R1.10～ R2.6～ R2.6～R6.6 R2.6～ R2.6～ H21.8～R2.6 R2.6～ R1.10～R3.3 R6.7～	赤崎漁協理事 大船渡市漁協理事 大船渡市漁協副組合長理事 大船渡市漁協代表理事組合長 岩手県漁業協同組合連合会理事 岩手県信用漁業協同組合連合会理事 岩手県定置漁業協会理事 岩手県栽培漁業協会理事 気仙郡漁業協同組合監事 気仙郡漁業協同組合代表理事会長 岩手海区漁業調整委員会委員（法人代表・会長代理） 岩手県漁業協同組合連合会副会長理事	採介藻 養殖 磯建網	漁業者	大船渡市漁協	代表理事組合長 巨理 榮好	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員686人 準組合員582人	被推薦者は、昭和46年より49年間漁業に従事しており、現場に精通している。合併前の赤崎漁協時代から理事を務めており、合併後の大船渡市漁協でも理事、副組合長理事、代表理事組合長と通算で20年間務めているほか、岩手県漁業協同組合連合会の副会長を務め、地区においては刺網等の組合の組合長など歴任し、調整能力に優れている。また、現在は大船渡市漁協の代表として岩手海区漁業調整委員会の会長代理を務め、委員会への理解や意欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。		
5-2	巨理 榮好	ワタリ マサヨシ	75	男	大船渡市	漁業 (かき・ほたて養殖漁業、採介藻、磯建網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	広田湾漁協	代表理事組合長 砂田 光保	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的地位を高めることを目的とする。	正組合員413人 準組合員664人	被推薦者は、昭和46年より49年間漁業に従事しており、現場に精通している。合併前の赤崎漁協時代から理事を務めており、合併後の大船渡市漁協でも理事、副組合長理事、代表理事組合長と通算で20年間務めているほか、岩手県漁業協同組合連合会の副会長を務め、地区においては刺網等の組合の組合長など歴任し、調整能力に優れている。また、現在は大船渡市漁協の代表として岩手海区漁業調整委員会の会長代理を務め、委員会への理解や意欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。

5-3	亘理 榮好	ワタリ マサヨシ	75	男	大船渡市	漁業 (かき・ほたて養殖漁業、採介藻、磯建網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	気仙郡漁業協同組合	代表理事会長 亘理 榮好	この連合会は、会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的、社会的地位を高めることを目的とする。	5 会員	被推薦者は、昭和46年より49年間漁業に従事しており、現場に精通している。合併前の赤崎漁協時代から理事を務めており、合併後の大船渡市漁協でも理事、副組合長理事、代表理事組合長と通算で20年間務めているほか、岩手県漁業協同組合連合会の副会長を務め、地区においては刺網等の組合の組合長など歴任し、調整能力に優れている。また、現在は大船渡市漁協の代表として岩手海区漁業調整委員会の会長代理を務め、委員会への理解や意欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
5-4	亘理 榮好	ワタリ マサヨシ	75	男	大船渡市	漁業 (かき・ほたて養殖漁業、採介藻、磯建網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	綾里漁協	代表理事組合長 和田 豊太郎	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員297人 準組合員8人	被推薦者は、昭和46年より49年間漁業に従事しており、現場に精通している。合併前の赤崎漁協時代から理事を務めており、合併後の大船渡市漁協でも理事、副組合長理事、代表理事組合長と通算で20年間務めているほか、岩手県漁業協同組合連合会の副会長を務め、地区においては刺網等の組合の組合長など歴任し、調整能力に優れている。また、現在は大船渡市漁協の代表として岩手海区漁業調整委員会の会長代理を務め、委員会への理解や意欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
5-5	亘理 榮好	ワタリ マサヨシ	75	男	大船渡市	漁業 (かき・ほたて養殖漁業、採介藻、磯建網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	越喜来漁協	代表理事組合長 船砥 秀市	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員412人 準組合員45人	被推薦者は、昭和46年より49年間漁業に従事しており、現場に精通している。合併前の赤崎漁協時代から理事を務めており、合併後の大船渡市漁協でも理事、副組合長理事、代表理事組合長と通算で20年間務めているほか、岩手県漁業協同組合連合会の副会長を務め、地区においては刺網等の組合の組合長など歴任し、調整能力に優れている。また、現在は大船渡市漁協の代表として岩手海区漁業調整委員会の会長代理を務め、委員会への理解や意欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
5-6	亘理 榮好	ワタリ マサヨシ	75	男	大船渡市	漁業 (かき・ほたて養殖漁業、採介藻、磯建網)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	吉浜漁協	代表理事組合長 寺澤 泰樹	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員143人 準組合員95人	被推薦者は、昭和46年より49年間漁業に従事しており、現場に精通している。合併前の赤崎漁協時代から理事を務めており、合併後の大船渡市漁協でも理事、副組合長理事、代表理事組合長と通算で20年間務めているほか、岩手県漁業協同組合連合会の副会長を務め、地区においては刺網等の組合の組合長など歴任し、調整能力に優れている。また、現在は大船渡市漁協の代表として岩手海区漁業調整委員会の会長代理を務め、委員会への理解や意欲もある。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
6-1	小川原 泉	コガワラ イズミ	73	男	釜石市	漁業 団体理事	S47.5～H17.4 S49.4～	釜石東部漁協勤務 釜石東部漁協正組合員	H20.6～ H28.6～R4.7 H26.7～H29.4 H30.10～R6.6	釜石東部漁協代表理事組合長 釜石市漁業協同組合連合会会長 岩手県漁業信用基金協会理事長 岩手県漁業協同組合連合会副会長	採介藻 養殖	漁業者	釜石東部漁協	代表理事組合長 小川原 泉	この組合は、組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。	正組合員302人 準組合員38人	小川原泉氏は、釜石東部漁協の職員として長年にわたり勤務し、平成20年6月には理事となり、同日、代表理事組合長に就任された。平成28年から6年間は釜石市漁連の会長として釜石地区の漁業の発展に尽力され、更には平成30年から令和6年まで岩手県漁業協同組合連合会の副会長として岩手県の漁業関係全般において尽力された。その他にも岩手県水産団体の役員にも数多く就任され、岩手県の漁業の現状を多く理解されており、今後も岩手海区漁業調整委員会の委員として適任であることから、候補者として推薦する。	

6-2	小川原 泉	コガワラ イズミ	73	男	釜石市	漁業 団体理事	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	唐丹町漁協	代表理事組合長 木村 嘉人	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員224人 準組合員34人	小川原泉氏は、釜石東部漁協の職員として長年にわたり勤務し、平成20年6月には理事となり、同日、代表理事組合長に就任された。平成28年から6年間は釜石市漁連の会長として釜石地区の漁業の発展に尽力され、更には平成30年から令和6年まで岩手県漁業協同組合連合会の副会長として岩手県の漁業関係全般において尽力された。その他にも岩手県水産団体の役員にも数多く就任され、岩手県の漁業の現状を多く理解されており、今後も岩手海区漁業調整委員会の委員として適任であることから、候補者として推薦する。
6-3	小川原 泉	コガワラ イズミ	73	男	釜石市	漁業 団体理事	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	釜石湾漁協	代表理事組合長 佐藤 雅彦	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員309人 準組合員15人	小川原泉氏は、釜石東部漁協の職員として長年にわたり勤務し、平成20年6月には理事となり、同日、代表理事組合長に就任された。平成28年から6年間は釜石市漁連の会長として釜石地区の漁業の発展に尽力され、更には平成30年から令和6年まで岩手県漁業協同組合連合会の副会長として岩手県の漁業関係全般において尽力された。その他にも岩手県水産団体の役員にも数多く就任され、岩手県の漁業の現状を多く理解されており、今後も岩手海区漁業調整委員会の委員として適任であることから、候補者として推薦する。
6-4	小川原 泉	コガワラ イズミ	73	男	釜石市	漁業 団体理事	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	新おつち漁協	代表理事組合長 平野 榮紀	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員211人 準組合員24人	小川原泉氏は、釜石東部漁協の職員として長年にわたり勤務し、平成20年6月には理事となり、同日、代表理事組合長に就任された。平成28年から6年間は釜石市漁連の会長として釜石地区の漁業の発展に尽力され、更には平成30年から令和6年まで岩手県漁業協同組合連合会の副会長として岩手県の漁業関係全般において尽力された。その他にも岩手県水産団体の役員にも数多く就任され、岩手県の漁業の現状を多く理解されており、今後も岩手海区漁業調整委員会の委員として適任であることから、候補者として推薦する。
7-1	川戸道 達三	カワトミチ タツゾウ	70	男	久慈市	漁業	S44.3～S53.3 S54.3～ H13.4～	イカ釣り漁業漁船員として乗船 運送業を開業 久慈市漁協久喜漁業生産部役員	H19.6～R4.6 R4.7～ R5.6～ H27.4～	久慈市漁協代表監事 久慈市漁協代表理事組合長 岩手県漁業協同組合連合会理事 久慈市消防団副団長		採介藻	漁業者	久慈市漁協	代表理事組合長 川戸道 達三	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員734人 準組合員2人	被推薦者は、昭和44年から漁船員として漁業に携わり、以後は地元漁業のアワビ・ウニ等の採介藻漁業中心に従事するほか、これまで久喜漁業生産部の役員を長年務めている。 平成19年から組合の代表監事を歴任し、令和4年からは組合長に就任している。併せて、令和5年度から県漁連理事に就任するなどの要職に就いており、組合をはじめ地域漁業の牽引役としての貢献は大きい。以上から、岩手海区漁業調整委員会漁業者委員に推薦する。
7-2	川戸道 達三	カワトミチ タツゾウ	70	男	久慈市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	野田村漁協	代表理事組合長 小谷地 勝	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員105人 準組合員6人	被推薦者は、昭和44年から漁業に従事し、現在も生産部役員として、採介藻漁業を中心に営んでいる。これまでの永年の漁業経験を活かした豊富な実績を買われ、地域の漁業者からの信頼が厚い。 更には、平成19年から組合役員を務めるとともに、令和5年度から県漁連理事を務めるなど、地域になくはない人物であり、地域の調整役として水産業の発展に大きく貢献していると認められる。以上から、岩手海区漁業調整委員会の委員として推薦する。
7-3	川戸道 達三	カワトミチ タツゾウ	70	男	久慈市	漁業	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	小子内浜漁協	代表理事組合長 畑川 吉松	この組合は、 組合員が協同して 経済活動を行い、 漁業の生産 能率を上げ、 もって組合員の 経済的社会的地位 を高めることを 目的とする。	正組合員71人 準組合員6人	被推薦者は、昭和44年から漁船員として漁業に携わり、以後は地元漁業のアワビ・ウニ等の採介藻漁業中心に従事しているかたわら、地元漁協の役員を平成19年から務め、令和4年からは組合長に就任している等長期にわたる経験を有する。併せて、令和5年度には、九戸地域から県漁連理事をはじめとする要職を務めるなど、漁業者としての経験と地域を代表するリーダーとしての信頼は大きい。以上から、岩手海区漁業調整委員会漁業者委員に推薦する。

